

平成30年度中川区区民会議

意見収集の場「なかが話」報告書



主催：中川区役所

企画運営：パブリック・ハーツ株式会社

目 次

中川区区民会議 意見収集の場「なかが話」	1
----------------------	---

平成30年度「なかが話」開催日時等

意見収集の場「なかが話」実施報告	2
------------------	---

スケジュール 2 |

安心・安全で快適なまちづくり 3 |

誰もが健やかにいきいきと暮らせるまちづくり 4 |

中川区“まちの魅力”づくり 6 |

<添付資料>

事前ワーク 9 |

参加者アンケート結果 10 |



中川区区民会議 意見収集の場「なかが話^わ」

中川区では、区民の皆さまの区政への参画を推進し、区の将来の方向性等に関し、ご意見をいただくため、学区区政協力委員会委員長及び各種団体の長の皆さまからなる「区民会議」を開催しています。

また、区民会議の開催にあたり、さまざまな年代・立場の方々から、より多くの意見を聞く場として「なかが話」（中川区の将来について話し合う場）を開催しています。

2020年度には、区を取り巻く社会状況の変化を踏まえ、めざすべき区の姿を明らかにするため、住民参画のもと「区将来ビジョン」を策定する予定です。

そこで、平成30年度の「なかが話」では、平成29年度と同様に、区政運営の基本方針に掲げた「安心・安全で快適なまちづくり」「誰もが健やかにいきいきと暮らせるまちづくり」「中川区“まちの魅力”づくり」の3つをテーマとして、少人数に分かれて話し合っていました。

平成30年度「なかが話」開催日時等

区民会議構成員から推薦された区民35人と区内3高校（県立中川商業高等学校、市立富田高等学校、市立工業高等学校）の生徒各校3人の合計44人が参加

平成30年11月10日（土） 午後1時30分～4時00分

テーマ：安心・安全で快適なまちづくり 参加者：16人

誰もが健やかにいきいきと暮らせるまちづくり 参加者：13人

中川区“まちの魅力”づくり 参加者：15人



意見収集の場「なかが話」実施報告

スケジュール

<開催日まで>

参加者は、各テーマについて「10年後の理想的な未来のイメージ」、「10年後の成り行き的な未来（このまま何も行わなかった場合）のイメージ」、「理想的な未来を実現するための鍵」を「事前ワーク」に記入。（添付資料参照）

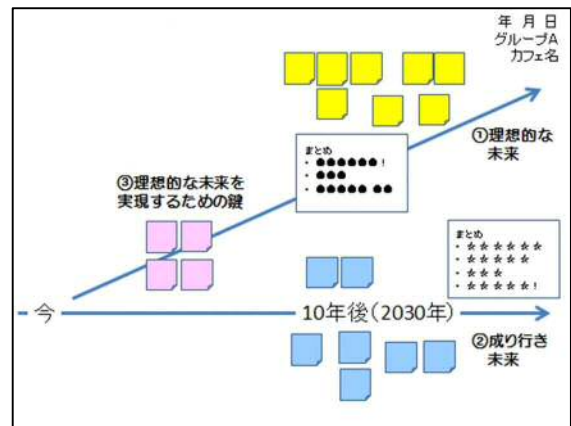
<開催当日スケジュール>

- ◆午後1時30分～「なかが話」開始
 - ・中川区役所企画経理室から、「なかが話」開催の趣旨等について説明。
 - ・ファシリテーター（パブリック・ハーツ（株））から、全体の流れとお願いについて説明。
- ◆午後1時40分～ウォーミングアップ
 - ・二人一組になり、「私と中川区とのご縁、思い出」について、数分ずつ話す、聴く。



- ◆午後1時50分～グループワーク
 - ・各グループで自己紹介後、グループをカフェに見立てて、マスター（議長）、スタッフ（書記）、カフェの名前を決める。

- ・議論をしながら模造紙にまとめる。



↑ 模造紙のまとめ方

- ◆午後3時20分～意見発表
 - ・「まとめ ～ 一番大切だと思うこと」を中心に、グループごとに意見発表。



- ◆午後4時00分 終了

<テーマ>

安心・安全で快適なまちづくり

Aグループ 「にゃんカフェ」

ゴール（理想的な未来）は、安心・安全なまちになること。

交通、ゴミ、高齢者（弱者）などさまざまな問題があるが、地域住民のコミュニケーションが重要である。

例えば、防災訓練に一部の人だけが参加するのではなく、皆さんが参加できるようにしたい。日頃から、まちづくりや区政について考えている人はいるが、この「なかが話」のように、区役所に区民の声を届ける仕組みができることが鍵になる。



<模造紙にまとめられた内容（抜粋）>

【理想的な未来】

- 安心安全に出られるまちになる。
- 防災訓練により問題点を把握。
→防災のモデル区になる。形だけの防災訓練はやった結果だけで終わる。
- 住民が助け合い安心して住むまち。
- 弱者にやさしい安心・安全に生活ができるまち。

【理想的な未来を実現するための鍵】

- 防犯カメラや防犯灯の設置。
- ご近所とのコミュニケーションを活発にする。
- 助け合いの仕組みづくり。
- 道路整備された、美しいまちになっている。
- 地域の小中学校に声をかけて、月1でゴミ拾いをしながら帰る。
- きめ細やかな話し合いの積み重ね。
- 区役所に声を届ける仕組みができる。

【一番大切だと思うこと】

- 安心・安全なまち。

Bグループ 「カフェ なごやか」

地域の皆さんが個人を向き、地域を向いていないので、犯罪が増えているのではないかと懸念している。

皆さんが周りの方や地域に関心を持ち、犯罪のない、心と心の戦い（いがみあい）もない未来を理想としている。

そのためには、自動車へのドライブレコーダーの搭載を増やし、防犯カメラのように社会の目とすると良いのではないか。

一番大事なことは、人と人との連携を図ること。

<模造紙にまとめられた内容（抜粋）>

【理想的な未来】

- 交通事故や車上荒らしが無い未来。
- みんなが暮らしやすいまち。
- 地域全体が協力しあえるまち。誰もが幸せになれるように。
- 他人やまわりに関心を持ち、活動的（自主的）な地域となることで、安心・安全を図ることができる。

【理想的な未来を実現するための鍵】

- ドライブレコーダーを車につけることで、事故や犯罪を減らす。
- 人との連携。考え方を分かち合う。
- 一人ひとりが少しでも他人の為に何かできるかを考える。
- 裁判員制度のように、無作為抽出で人を選び、未来の話し合いを市がする。

【一番大切だと思うこと】

- 人との連携を図って犯罪を減らす。



Cグループ「カフェ オリンピック」

最近、近所との交流が減ったので疎外感を感じ、それが犯罪に繋がっているとも考えられる。今のままだときっと災害時にパニックになる。地域にゴミもあふれる。

地域との繋がりがあれば災害時も安心なため、防災訓練、地域行事に、多くの方に参加してもらえる工夫をしていきたい。

地域との密接な交流ができれば、クリーンで、安心・安全なまちができる。

<模造紙にまとめられた内容(抜粋)>

【理想的な未来】

- 災害時の心配が少ないまち(ライフラインが充実し避難場所もわかっている)。
- 自主防災組織が結成され、消防団が行政と連携し、災害に強いまち。
- 地域とのつながりがあれば、災害時も安心。

- クリーンで安全・安心なまち。



【理想的な未来を実現するための鍵】

- 防災訓練の回数を増やし、地域の人をひとりでも多く参加させる。
- 地域のまだ関わりのない人たちと交流するための機会を増やす。
- 要援助者の把握。
- 人家の少ない暗い道には、防犯灯を設置し、防犯カメラもつける。
- 地域をきれいにする。
- クリーンキャンペーンだけでなく、ゴミ出しルールの徹底。

【一番大切だと思うこと】

- 地域との密接な交流があれば、クリーンで安心・安全なまちづくりができる。

<テーマ>

誰もが健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

Dグループ「カフェなごみ」

近所との交流が無くなると困るので、誰もが気軽に足を運べて交流できる場所があるといい。例えば公園。

ただ最近の公園は、子どもがボールで遊べない、遊具が減っている、高齢者が利用できる健康器具がないという状況にあるので、設備が充実しているといい。

外に出て、地域の方々とあいさつをしたり、自分から声をかけ交流したりしていきたい。



<模造紙にまとめられた内容（抜粋）>

【理想的な未来】

- 近所や地域の人と気軽にあいさつや声かけられる関係をつくるまちづくり。
- 町内会等で明るいまち。交流が絶えない。
- どの世代も楽しめる公園があるといい。
→小さい子はたくさんの遊具。
→小学生以上は、ボール遊びが出来る。
→大人たちには、健康に良さそうな器具。

【理想的な未来を実現するための鍵】

- 自分から動いてしゃべりかける。近所の人(子どもたちへも)に積極的に明るくあいさつする。
- 知らない人でも、町内・近所で会ったらあいさつする(防犯にもつながる)。
- パトロールの時にできるだけあいさつをする。

【一番大切だと思うこと】

- 年齢に関係なく誰もが気軽に足を運べる場所の充実(公園設備など)。
- 利用しやすい環境をつくる(地域の明るい交流の場にする)。

Eグループ 「カフェ ランナー」

みんなに優しいまちになるために一番望むことは、一緒に集まれる場所。

名古屋人は大阪人と比べてあいさつしても返ってくるのが少ない。大阪では、あいさつだけでなく、「何してるの?」と手を握ったりする。もっとコミュニケーションがとれるといい。

そのためには、バスや地下鉄に乗って出かけることも大事。高畑周辺や東の方はいいが、庄内川を越えて西の方にも、地下鉄やバスを充実させていただきたい。



<模造紙にまとめられた内容（抜粋）>

【理想的な未来】

- 子ども、高齢者など、さまざまな年代の人が交流でき、ささえあうまち。
- 近隣の人たちへの気遣いができるまち。
- 自然に人々が集まれる憩いの場所ができる(カフェ)。
- たくさん子どもと一緒に遊べるまち。
- 区の西の方に地下鉄が伸びる、バス等が充実する。

【理想的な未来を実現するための鍵】

- 趣味や運動などの、気軽に参加できるイベントの増加。
- あいさつだけでなく、みんなといろいろな話ができるように仲間をつくっていく。

- 気軽に集まれる場所の設置。
- 公園、遊具の充実。安全な環境。
- 子どもを支えられる地域づくり。

【一番大切だと思うこと】

- 区の西の方へのバス・地下鉄の充実。

Fグループ 「カフェ なかが輪」

高齢者が地域の人々と交流し、安心・安全に生活することができるという。

また、子どもを育てながら両親が継続して働くことができたり、災害時に地域で協力し合えるまちがいい。

それを実現するための鍵は、地域の人々の交流。例えば、警察ではなく、地域でパトロールなどをすることで、犯罪が抑制されるまちになると思う。

<模造紙にまとめられた内容（抜粋）>

【理想的な未来】

- 子どもたちが安全に楽しく過ごせるまち。
- 近所の見回り、近所同士のお付き合い。
- 学生や地域の方と協力しあえるまち。

【理想的な未来を実現するための鍵】

- 犯罪抑制のため、地域の見回り。
- 私設警官の導入。
- 高齢者専用バスの運営（イベント事への送迎車を出す）。
- 日頃の声かけ、あいさつ活動。
- 地域にボランティア活動の養成。



【一番大切だと思うこと】

- 高齢者の方が地域と交流を持ち、安全・安心に生活できる。
- 子どもを持つ両親が継続して就労できる。
- 地域で協力しあえるまち。

<テーマ>

中川区“まちの魅力”づくり

Gグループ 「カフェ 輝」

まず、地下鉄の延伸、バスの本数の増加など交通の利便性を良くする。

そして、そこから行けるところに中川区のシンボルとなるようなランドマークを観光の目玉としてつくりたい。

SLを走らせれば、好きな人たちが来て活性化するかもしれない。



<模造紙にまとめられた内容（抜粋）>

【理想的な未来】

- 歴史文化を伝える資料の収集として、資料館をつくる。
- わかりやすい観光地がある。
- 交通整備が進み、事故の無いまち。

【理想的な未来を実現するための鍵】

- 観光地やシンボルの完成。
- ランドマークをつくる。

- SLを走らせる。好きな人たちが集まる。
- 地下鉄の延伸、循環化。

【一番大切だと思うこと】

- 交通網の整備。

Hグループ 「カフェ ハボン」

中川区は広く、地域ごとに理想的な未来が違うのでテーマとして大きすぎる。もう少し切り込んで話したい。

共通した理想像で考えると、「地域交流ができる社会」となる。

一番の懸念は、区内に点在する公営住宅に住む人の高齢化である。若者に地域社会に興味や関心を持ってもらい、地域の行事や会合に参加をしてもらうことが大事。



【理想的な未来】

- 高齢者が積極的に活動できる便利なまち（バス。買い物しやすい。若い人たちとの交流）。
- 川がきれいに浄化されている。
- バス以外（電車・地下鉄など）の交通網が広がる。
- 若い人たちが移住したいと思うまち。
- 駅前にショッピングセンターをつくり、もっと若者が集まるまちにしたい。

【理想的な未来を実現するための鍵】

- 幅広い世代の人が交流する場づくり。
- 地域での交流が大切。

- 山車やまつりなど、古い伝統を新しい居住者と協力して次の世代につなぐ。
- 役所にもっと区民の声を聞いてもらえる機会を増やしてほしい。
- 中川区の声が小さい（イベント自体はいいものなのに“やっている”という情報が伝わってこない）。

【一番大切だと思うこと】

- 地域交流ができる社会。

Iグループ 「杉ちゃんカフェ」

中川区といえば、下之一色、荒子観音など見どころは多数あるが、その中でも中川運河をシンボルにしてはどうか。

最近、中川運河ではイベントの開催や、川沿いにカフェができてオシャレになってきている。アートに彩られたりもしているが、区民には知られていない。

まず自分たちが知ることが大事なので、区の東西を行き来する大人の社会見学をしてはどうか。外国人や若者向けにはSNSを上手く活用する。



<模造紙にまとめられた内容（抜粋）>

【理想的な未来】

- 高畑から西に向けて鉄道を走らせる。
- 区内の交通網が広がる。
- 活性化のために、高校生主体でまちおこし。

- 中川区を知るための見学会。
- 中川運河をシンボルにしたい。
- 運河沿いの街路樹（春は桜・秋は紅葉）
を見ることのできる遊覧船を走らせる。
- PRをもっと上手くする。
- SNSを活用して若者や外国人を呼び込む。

【理想的な未来を実現するための鍵】

- 区のシンボルをつくる。
- モデル商店街をつくる。
- 街路灯を見直す。
- 高畑から西へ地下鉄を延ばす。交通網
を広げる。
- PRの強化。

【一番大切だと思うこと】

- 中川運河を活用して、春夏秋冬を感じる
まちにしよう。

後記

それぞれのグループで、約2時間半、熱心に話し合っていました。

話し合っていた結果は、区民会議の場で報告させていただき、区民会議構成員の皆さまと意見交換を行い、今後の区政運営に役立ててまいります。

ご参加いただいた皆さん、どうもありがとうございました。



事前ワーク

「安心・安全で快適なまちづくり」(区政運営方針 P.1~5 を参考)

「なかが話」の円滑な進行のため、事前にご参加いただく上記のテーマについて、以下の1・2・3にあなたが思うことをご記入いただき、当日お持ちください。

また、平成32年度に作成する予定の「中川区将来ビジョン」のイメージ図を同封しておりますので、参考にさせていただければと思います。

なお、ご参加いただく「安心・安全で快適なまちづくり」は、イメージ図の「安心・安全、きれいなまち」のところをご覧ください。

1. テーマについて、10年後の理想的な未来(イメージ)

例 ○災害時の心配が少ないまち ○犯罪がないまち

2. テーマについて、10年後の成り行き的な未来(このまま何も行わなかった場合)のイメージ

例 ○災害が発生した場合、適切な避難が出来ない ○犯罪が減らない

3. テーマについて、理想的な未来を実現するための鍵

例 ○防災訓練への参加、助け合いの仕組みづくり ○地域での防犯パトロールへの参加

11月10日(土) 中川区区民会議 意見収集の場「なかが話」にお持ちください。

事前ワーク

「誰もが健やかにいきいきと暮らせるまちづくり」(区政運営方針 P.6~13 を参考)

「なかが話」の円滑な進行のため、事前にご参加いただく上記のテーマについて、以下の1・2・3にあなたが思うことをご記入いただき、当日お持ちください。

また、平成32年度に作成する予定の「中川区将来ビジョン」のイメージ図を同封しておりますので、参考にさせていただければと思います。

なお、ご参加いただく「誰もが健やかにいきいきと暮らせるまちづくり」は、イメージ図の「みんなにやさしいまち」のところをご覧ください。

1. テーマについて、10年後の理想的な未来(イメージ)

例 ○誰もが地域で支え合うまち ○子どもがのびのびと遊べるまち

2. テーマについて、10年後の成り行き的な未来(このまま何も行わなかった場合)のイメージ

例 ○地域で顔見知りの人が少なくなる ○外で遊ぶ子どもを見かけなくなる

3. テーマについて、理想的な未来を実現するための鍵

例 ○気軽に挨拶ができる ○地域での見守り活動の実施

11月10日(土) 中川区区民会議 意見収集の場「なかが話」にお持ちください。

事前ワーク

「中川区“まちの魅力”づくり」(区政運営方針 P.14~17 を参考)

「なかが話」の円滑な進行のため、事前にご参加いただく上記のテーマについて、以下の1・2・3にあなたが思うことをご記入いただき、当日お持ちください。

また、平成32年度に作成する予定の「中川区将来ビジョン」のイメージ図を同封しておりますので、参考にさせていただければと思います。

なお、ご参加いただく「中川区“まちの魅力”づくり」は、イメージ図の「魅力あふれるまち」のところをご覧ください。

1. テーマについて、10年後の理想的な未来(イメージ)

例 ○賑わい、活気あるまち ○中川区に誇りを持っている区民が増える

2. テーマについて、10年後の成り行き的な未来(このまま何も行わなかった場合)のイメージ

例 ○まちの活気がなくなる ○人口が減る

3. テーマについて、理想的な未来を実現するための鍵

例 ○区の様々な観光資源(歴史、ものづくなど)の発信
○若者から年配の人が参加できるイベントの実施

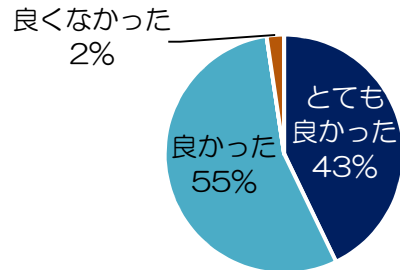
11月10日(土) 中川区区民会議 意見収集の場「なかが話」にお持ちください。

平成30年度中川区区民会議意見収集の場「なかが話」参加者アンケート

開催日：平成30年11月10日（土）
 参加人数：44人
 回答者数：42人（2人は途中退席のため、回収できず）

1 本日の「なかが話」はいかがでしたか。

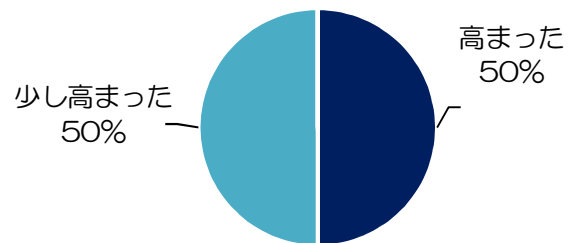
とても良かった	18人
良かった	23人
あまり良くなかった	0人
良くなかった	1人
無回答	0人



- ・普段なかなか会話しないであろう人たちと話し合えたのはいい経験になった。
- ・年齢・性別・職業が異なる人達と活発な意見交換ができた。このような場を学区でも開催できたらと思う。
- ・「会議」というと、緊張もするし、自分の意見を話しにくいところもあるが、このような話し合い（カフェ）だと思ったことを言えるので、良いと思う。
- ・普段あまり話す機会がないので、このような場があるのはいいなと思う。自分の気持ちを役所に伝える機会もあまりないので、続くといいなと思った。
- ・いろいろな世代の意見を聞くことができて良かった。学生さんの参加は素晴らしいと思う。
- ・東西に住んでいる人で、問題の重点が違うということがわかった。
- ・どこの地域も抱えている問題（高齢化・交通不便など）は同じなので、解決のための具体案をもっと話し合う時間が欲しい。
- ・実現が出来ない話し合いなので、テーマをもっと具体的なものにした方が良い。
- ・中川区への興味・関心が増した。

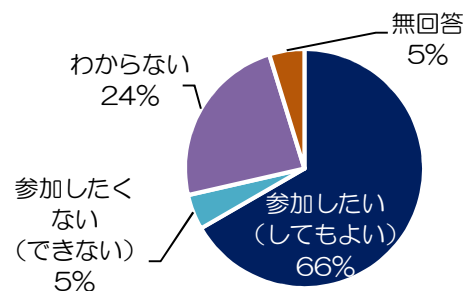
2 本日の「なかが話」に参加して、中川区政や中川区の将来について理解や関心は高まりましたか。

高まった	21人
少し高まった	21人
あまり高まらなかった	0人
高まらなかった	0人
無回答	0人



3 来年度以降も「なかが話」を開催する場合、また参加してみたいと思いますか。

参加したい（してもよい）	28人
参加したくない（できない）	2人
わからない	10人
無回答	2人



- 同じ中川区に住む他地域の方の、地域活動の内容等が聞ける機会になった。
- 解決されていくもの・増えていくものがあると思うし、交流会というもの自体、近年少なくなっているのので、毎年続けることが必要だと思う。
- 参加できたなら、この話の中から実現できたことや進行中のものなど、具体的な話もして欲しいと思う。
- どの様な変化が見られたのか、住民へわかりやすく提示してもらえれば参加したい。
- 同じ人が参加するよりは、さまざまな立場の人が参加した方がよいと思う。

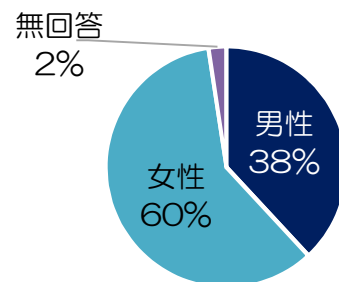
4 中川区の将来や区政運営について、ご意見がありましたらご記入ください。

- いろいろ意見を聞いていただく場があるが、それを取り上げ、検討した結果を住民に伝えることが必要かと思う。
- 安心・安全、快適なまちづくりをめざすには人と人とのコミュニケーションが大切なので、もっと人と人との関わりが作れる情報を流してほしい。まだまだ知らない事が多かった。
- 自分たちのまちは自分たちで守る（共助）ために、行政の手助け（声掛け・助言）をお願いしたい。
- 今日の意見のように明るい区になっていくといいなと思う。中川区は広くて、場所によって状態は違えども、考えていることは一緒なので、役所と区民が一緒に良い町をつくってあげればよいと思う。
- 地下鉄の延伸化、循環化が実現すると良いと思う。
- 高齢者増加に伴い、お年寄りの移動手段を区内で整備して欲しい。
- 映画やテレビドラマのロケ地となるような誘致をするとよい
- PRが効果的ではないと思ったので、もっとしっかりとして欲しい。

5 あなた自身についてお答えください。

○性別

男性	16 人
女性	25 人
無回答	1 人



○年代

10歳代	10 人
20歳代	0 人
30歳代	1 人
40歳代	8 人
50歳代	7 人
60歳代以上	16 人
無回答	0 人

